

商業地価DIプラス幅拡大

石川、10月1日時点 住宅地は縮小

石川県宅地建物取引業協会と県不動産鑑定士協会がまとめた不動産市況DI (判断指数) 調査によ

ると、10月1日時点の県内住宅地は同28・1からプラス幅が縮小し、同23・7だった。

ると、10月1日時点の県内商業地の地価動向DIはプラス29・9となり、前回調査(4月1日時点)の同

来々4月の見通しは、商業地がプラス22・5、住宅地が同3・9で、いずれも悪化すると予想した。

住宅地は物価上昇や着工

棟数の減少で先行きの不透明感が出ており、商業地は観光需要が回復傾向にあるものの、先行きはやや慎重な見方が影響していると推測した。

県宅地建物取引業協会の会員に対してアンケートを実施し、255件の回答を得た。県不動産鑑定士協会が回答を分析した。同調査は4月と10月の年2回行っている。